

2019年度 明治大学と大阪大学・京都府立大学・関西大学との  
考古学・古代史大学院生研究交流プログラム

日時:2020年1月11日(土)・12日(日)

会場:大阪大学豊中キャンパス 文法経済学部本館 大会議室

1月11日

- 14:00-14:05 開会挨拶・趣旨説明
- 14:05-14:30 上田裕人(関西M1)「弥生時代前期における竪穴式建物の分類とその特質」
- 14:30-14:40 質 疑
- 14:40-15:05 西浦 熙(大阪M2)「土器移動からみた弥生時代後期の地域間関係  
—生駒山西麓産土器を中心に—」
- 15:05-15:15 質 疑
- 15:15-15:40 柏瀬拓巳(明治M1)「関東平野北東部における古墳出現期の地域性—集落動態を中心に—」
- 15:40-15:50 質 疑
- 15:50-16:05 休 憩
- 16:05-16:30 陰地祐輝(京都府立M2)「伊勢地域における淡輪系埴輪製作技術の伝播経路とその背景」
- 16:30-16:40 質 疑
- 16:40-17:05 大熊久貴(明治M1)「古墳時代環濠遺構の研究」
- 17:05-17:15 質 疑
- 17:15-17:40 谷本峻也(大阪M2)「三木窯跡群における東播系須恵器の分類と編年」
- 17:40-17:50 質 疑
- 18:30-20:30 懇親会

1月12日

- 10:00-10:25 才木 希(明治M1)「八世紀における正倉管理と神火」
- 10:25-10:35 質 疑
- 10:35-11:00 鎌塚大地(明治M1)「平安初期の親王経済—太守を中心に—」
- 11:00-11:10 質 疑
- 11:10-11:30 休 憩
- 11:30-11:55 向井健悟(大阪M1)「武蔵国の大贄「鼓」について」
- 11:55-12:05 質 疑
- 12:05-12:30 中島皓輝(明治D1)「諸請の構造」
- 12:30-12:40 質 疑
- 12:40-12:45 閉会挨拶